

# よせに生きる社会 (社会の変化)

## ねらい

現代社会は様々な面で大きな変化を余儀なくされているが、「良い変化」や「喜ばしい変化」は受け入れ、さらにそれを継続、発展させていくことが必要であるし、一方「望ましくない変化」には早く気づき、その対策を考え実行していかなければならない。

最近、目に見える社会変化のひとつとして、在住外国人の数の増加に伴う様々な「変化」が挙げられる。様々な人種や国籍、文化背景の人々が暮らす地域で、よりよい社会を作っていくために大切なことは何かを考え、変化していく社会へ対応できる力を身に付けてほしい。

## 学習者の目標

- 知識** ● 在住外国人の存在や、その立場を知り、日本の社会に起きている変化に気づくことができる。
- 技能** ● 様々な統計や資料から必要な情報を読み取り、その原因や理由を考えることができる。
- 態度** ● 様々な人の存在を認めて受け入れ、社会の一員としてよりよい地域を作っていこうとすることができる。

対 象 小学校高学年以上

### 学習計画

総時間  
**13**  
時間

	内 容	時間	主 な 手 法
1	「外国人」って身近な人?遠い人?	2	インタビュー、タイムライン
2	近くに住んでいる外国籍福島人	1	インターネット
3	いろんな人がいるんだね	2	インターネット、インタビュー
4	日本はどんなふうになってきたのかな?	1	タイムライン
5	みんな同じ、みんな違う	2	ブレーンストーミング
6	日本はどんなふうになっていくのかな?	2	インタビュー、タイムライン
7	未来を作るのは誰?	3	インタビュー、タイムライン

## 学習案

### 1 「外国人」って身近な人？遠い人？（2時間&宿題）（主な手法：インタビュー、タイムライン）

1. 地域の様々な人々にインタビューし、それぞれの子供の頃のイメージや体験を聞き出して表にまとめる。子どもたち自身も質問について答えを書く。

#### 質問内容例

- 「外国」とは、どんな所だと思っていた？
- 「外国人」は、どんな人だと思っていた？
- 代表的な外国人の名前は？
- 初めて外国人と会ったり、話したりしたのはいつ？
- 日本と外国との関係に大きな影響を与えたと思う出来事や社会変化は何？

#### 対象者例

- おじいさん、おばあさん（あるいはその年代の人）
- お父さん、お母さん（あるいはその年代の人）
- 自分より年下の人（弟妹または近所の子供など）
- 外国で生活したり、仕事をしたことがある人

2. インタビューした答えをもとにタイムラインを作る。（→「タイムライン」P67）

- ① 横長の紙を上下に二分するように横に線（タイムライン）を一本引き、祖父母の生まれた頃から現在までの年代を、タイムラインに書き入れる。
  - ② 前述のインタビューの答えをもとに、タイムラインの上側には「代表的な外国人名」、下側には「出来事や社会変化」を書き込むなどしてタイムラインを完成させる。
3. 完成したタイムラインを見ながら、年代によるイメージの違いや変化について気づいたことを出し合う。

### 2 近くに住んでいる外国籍福島人（1時間）（主な手法：インターネット）

1. 福島県または自分の市町村在住の外国人登録者\*の国籍、人数、増減などについて調べる。（\*外国人登録：外国から来て日本に90日以上住む人は市町村役場に登録しなければならない。）（→「インターネット」P61）



参考資料 福島県国際交流協会のホームページ……<http://www.worldvillage.org/>

#### 発展

日本全体について調べる。



参考資料 法務省のホームページ……<http://www.moj.go.jp/PRESS/010613-1/010613-1.html>

### 3 いろんな人がいるんだね（2時間）（主な手法：インターネット、インタビュー）

1. 地域で暮らしている外国籍福島人は、どんな理由で日本で暮らすようになったのかを調べる。（身近かに暮らしている外国籍福島人の具体的な例から始め、一般的なケースに広げていくと考えやすい。前述した「来日した理由」は、正式には「在留資格」と呼ばれている。）（→「インターネット」P61）



福島県国際交流協会のホームページ……<http://www.worldvillage.org/>  
 入国管理局の在留資格一覧……<http://cf.to/j/ydh/shikaku.htm/>

2. 地域で暮らしている外国籍福島人が増えてきた理由を、身の回りでの出来事や社会変化をもとに考える。各地域の特徴については、県あるいは最寄りの国際交流協会などへ問い合わせしてみる。



- 韓国・朝鮮籍（在日本大韓国民団、在日朝鮮人総連合会、強制連行）
- 中国籍（残留孤児、中国帰国者、家族呼び寄せ）
- 20～40代のアジア出身女性（農村の嫁不足、国際結婚）
- 南米籍（日系人労働者）
- 20才代の欧米籍（英語ブーム、英語指導助手（JETプログラム））
- 中国帰国者自立研修センター（郡山市）、会津大学（会津若松市）、留学生（留学生10万人計画）



福島県の国際化の現状……<http://www.pref.fukushima.jp/kokusai/>

#### 4 日本はどんなふうになってきたのかな？（1時間）（主な手法：タイムライン）

1. 1の学習活動で作成したタイムラインを再び見直し、これまでの調べ学習で得た情報や、歴史年表、資料集などを活用しながら、外国人の名前や出来事、社会変化を書き足す。（タイムラインに書き込む外国人の名前は、歴史上の人物だけでなく、タレントやスポーツ選手でもよいし、自分たちが影響を受けたと思えば、地域に住む外国人やALTの名前を挙げてよい。出来事に関しても、日本全体に関係することだけでなく、地域に起こったことを挙げてよい。）（→「タイムライン」P67）
2. 結果について話し合う。



- どのような社会変化や出来事が、人の移動やライフスタイルに変化をもたらしたか？
- 日本で活躍する外国人の国籍や、分野に変化はあったか？
- これからも日本で暮らす外国人は増えていくだろうか？

#### 5 みんな同じ、みんな違う（2時間）（主な手法：ブレインストーミング）

1. 日本人と外国人の共通点と相違点について考える。
  - ①外国人に対するイメージを「外国人は○○だ。」という文章にして○○の部分付箋紙（黄色）に書き、黒板上の「外国人」のエリアに貼る。（→「ブレインストーミング」P63）
  - ②同様に「日本人は○○だ。」という文章の○○の部分付箋紙（ピンク）に書き、「日本人」のエリアに貼る。（→「ブレインストーミング」P63）
  - ③思いっただけ貼り出したところで、「外国人」のエリアにある単語で「日本人」にも当てはまるものは、はがして「日本人」のエリアに貼り直す。「日本人」のエリアにある文章も同様に検討する。（例えば、『外国人は外国語を話す』という文章が子どもたちから出たとする。日本人でも『外国語を話す』ことができる人はいるので、この文章は、「外国人」のエリアから「日本人」のエリアへ貼り直すことができる。この活動を通して、外国人を特別視しない態度を育てたい。）
  - ④結果をについて話し合う。

教師の  
問いかけ例

- 日本人と外国人に共通のことは、どんなことだったか？
- 入れ替えられなかったのは、どんな文章だったか？
- 入れ替えられなかったことは、将来入れ替えられるようになるだろうか？
- 全部入れ替えられることばかりだったらどうだろうか？

発 展

この活動を、個人（2人の子ども）に当てはめ、「A君は○○だ。」と「Bさんは○○だ。」という文章で同様に行うことができる。入れ替えられなかった文章を見ながら、「A君（Bさん）は、これを変える努力をすべきか」と考えると、違いがあるのは当然であり、違いがその人の個性に結びついていることがわかる。

**6** 日本はどんなふうにならっていくのかな？（2時間）（主な手法：ブレインストーミング、力の分析）

1. 今後在住外国人が増えていったら、「家庭」、「学校」、「地域」でどのような変化が起きるか、「こうなってほしい」と「こうなってほしくない」の2つの変化について、ブレインストーミングを使って予測し書き出す。（→「ブレインストーミング」P63）

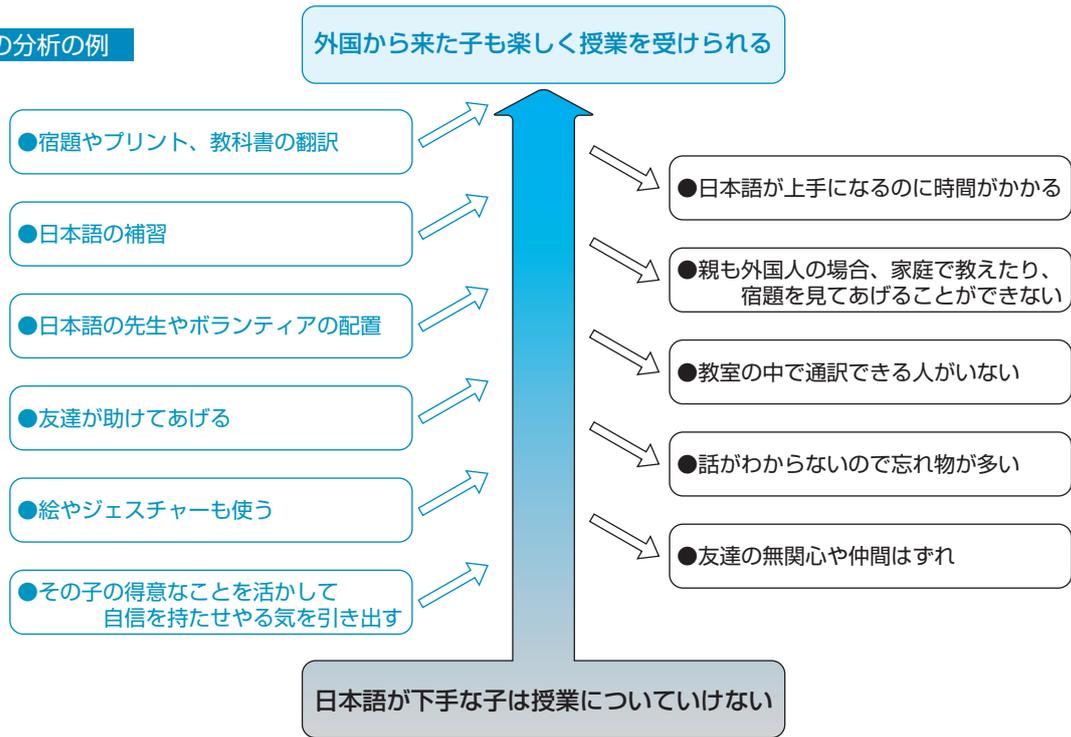
例

	こうなってほしい変化	こうなってほしくない変化
家 庭	外国人の友達が家に遊びに来る。 兄弟の中で国際結婚する人がいる。	外国人の友達とは遊ぶなと言われる。 国際結婚に反対され、家出する。
学 校	クラスに外国人が増え、外国のことを教えてもらえる。 習った外国語を、すぐに外国人の友達に話せる。	国籍で仲良しグループが決まってしまう。 日本語が下手な外国人の子は、授業についていけない。
地 域	外国人の店が増え、外国の料理を食べたり、品物を買ったりできる。 外国の人が地元のお祭りなどに参加して、盛り上がる。	外国人による犯罪が増える。 採用のときに、人種差別する会社がある。

2. 「こうなってほしくない変化」を引き起こさないようにするためにはどうしたらよいかを力の分析を使って考える。

- ① 1. の中からひとつ選んで最上部に「こうなってほしい状態」を、最下部に「こうなってほしくない状態」を書き、二つの間を上向き矢印で結ぶ。
- ② 矢印の右側には、妨げとなる力や要因を下向き矢印に沿って書き込む。
- ③ 矢印の左側には、それを良い変化に変えるためのアイデアや行動を上向き矢印に沿って書き込む。

## 力の分析の例



### 3. 完成した図について話し合う。

#### 教師の 問いかけ例

- 「こうなってほしくない変化」を引き起こすのは、人間のどんな気持ちや考え方だろうか？
- 自分たちにできることがあるだろうか？
- そうならないために、社会ですでに始まっている取り組みはあるだろうか？

#### 学習支援の ヒント

- 「こうなってほしくない変化」の中には、子どもたちは気づかない（知らない）が、現在すでに社会問題となっていることも出てくるかもしれない。その場合には、教師が現状や改善のための実際の取り組みなどについて情報を提供する。

例えば、「日本語が下手な外国人の子は、学校の授業についていけない。」の場合  
会津大学ができたことにより、会津若松市には多くの外国人の先生とその家族が住むようになった。先生たちが住む大学アパートを学区とする小中学校では、外国人の子どもたちに日本語を教えることを専門とする先生を配置し、子どもたちがある程度日本語に慣れるまでは、国語の時間は教室を離れ、別室でその先生と学習できるようにしている。また、家庭訪問、学期末の保護者会、教育相談などには通訳が同行し、学校からのお知らせも必要によっては翻訳している。しかし、外国人の保護者の間では、公立学校での英語教育に対する不満や、母国語で子供に教育を受けさせたいという願いから、帰国したり、単身赴任する人もいる。

## 発展

「国での変化」まで範囲を広げる。

- ①外国人の地方参政権問題をはじめ国籍条項による諸権利の制限や、外国人労働者の問題（不法就労や低賃金問題）などについて考える。
- ②各国の多文化共生社会の取り組みや実情について調べる。（日本と状況が似ているヨーロッパ各国の方が参考になる事例が多い。）
- ③調べた結果について話し合う。

## 教師の 問いかけ例

- 自分たちが予測した「変化」がすでに起こっている社会はあるのか？
- 自分たちが考えたアイデアや行動と似ている国家政策はあるか。あった場合には、その政策はよい結果をもたらしたか？

## 参考資料

まち居住研究会「住宅時事往来」No.9 ヨーロッパの移民事情……

<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/gakugei/kanren/gaikoku/no09/index.htm>

YAHOOニュース「移民問題」……<http://dailynews.yahoo.co.jp/fc/world/immigration>

## 7 未来を作るのは誰？（3時間）

よりよい社会を作っていこうと努力している人々の活動を知り、自らも積極的に関わる。

- 地域で「こうなってほしい変化」を推進している団体や「こうなってほしくない変化」に対して活動している団体にインタビューしたり、実際に各団体の活動に参加する。

### 団体例

- 県や各市町村の国際交流協会
- 県内の民間国際交流団体（福島県国際交流協会のホームページ「NGOの広場」には、県内民間国際交流団体の情報がある。）……<http://www.worldvillage.org/>

- 「こうなってほしい変化」を推進している団体や「こうなってほしくない変化」に対して活動している団体のホームページを探して活動内容を知り、応援メッセージをメールで送る。

### 団体例

- 多文化共生センター……<http://www.jca.apc.org/cmia/index.html>
- AMDA国際医療情報センター……<http://www.osk.3web.ne.jp/~amdack/>
- その他福島県国際交流協会ホームページ「多文化共生の広場」のリンク集参照……  
<http://www.worldvillage.org/>

- 市役所や公共機関などに対し、外国人の増加に対してどのような対応を取っているか、あるいは計画しているかをインタビューし、気づいたことやアイデアがあれば提案の手紙を書く。

- 在住外国人の増加が著しい市町村で起きた社会変化を調べ、手本としたい取り組みなどを授業参観や学習発表会の時に紹介する。

### 取り組み例

- 〈共住懇〉外国人とともに住む新宿区まちづくり懇談会……<http://www.root.or.jp/kyojukon>
- 明治大学商学部助教授 山脇啓造研究室……<http://www.isc.meiji.ac.jp/~yamawaki/index.htm>
- 福島県国際交流協会のホームページ「多文化共生の広場」……<http://www.worldvillage.org/>

## 主な 参考文献

テーマワーク（国際理解教育センター発行）